

# 令和7年度(2025年度)高校講座実施報告

(2月分)

令和8年5月26日

- 埼玉県 県立坂戸高等学校(令和8年2月5日)  
講演テーマ: 外務省の仕事ー日米経済関係ー  
講師: 北米局北米第二課 福谷恵麻 外務事務官



- 沖縄県 県立宜野湾高等学校(令和8年2月16日)  
講演テーマ: 外務省の仕事ー日本と世界の架け橋にー  
講師: 大臣官房沖縄事務所 仲村きらら 主査



●宮崎県 私立日章学園高等学校(令和8年2月19日)

講演テーマ:「外交」という仕事

講師: 国際法局経済紛争処理課 内田智大 主査



●東京都 私立光塩女子学院高等科(令和8年2月24日)

講演テーマ: 外務省の紹介と高校時代の過ごし方について

講師: 大臣官房要人往来支援総括官室 長島この実 外務事務官



●三重県 私立鈴鹿中等教育学校(令和8年2月26日)

講演テーマ: 外交について

講師: 国際協力局開発協力総括官室 神祥吾 首席事務官



●三重県 県立津西高等学校(令和8年2月27日)

講演テーマ: 外交について

講師: 国際協力局開発協力総括官室 神祥吾 首席事務官



参加者からの感想(抜粋)

●外務省については、今までニュースなどで聞いたことがあるくらいだったが、今回の講演を通してもっと身近な仕事だと感じる事ができた。政治情勢や国家間の関係の築き方など、情報の判断やコミュニケーションが大事だということが分かった。

●普段ニュースでしか知ることのできないような世界情勢について、高校生にも分かりやすく直接説明をしていただき、とても良い経験となった。

●外務省の仕事についてよく知らなかったが、外国との交渉の際に何を伝えるべきかを事前に決めておいたり、どんな回答が返ってくるかを予測していたりと国と国の関係を結ぶためにとても重要なことをしているのだと知った。国内で仕事をするだけでなく、実際に海外に住んで外国語を勉強したり、現地の人と交流したりするというのが印象に残った。

●外務省は今後の日本と世界の架け橋となって様々な取り組みをしていこうと関心を持った。また、住んでいる場所から一歩外に出てみることは自分にとっても成長の良い機会となると分かった。

●国際情勢が複雑化する中で、日本がどのような役割を果たしているのかを具体的事例を交えて解説していただき、理解が深まった。特に、現場での交渉の難しさや、やりがいについての話は自分の将来のキャリアを考える上でも大きな刺激となった。

●外務省に入ってから外国語の専門家として語学を学ぶ期間があると知り、入省後もしっかりしたサポートがあることに驚いた。また、関税交渉などといった日本や世界を背負う重要な仕事を若いうちから担うことに憧れた。

●ただ外交関係の仕事をするのではなく、語学力や対応力など幅広いスキルが求められることがわかり、さらに興味が深まった。

●国際社会における日本の役割や外交の重要性について深く学ぶことができた。特に印象に残ったのは、アメリカとの関係は経済、安全保障及び文化交流など幅広い分野で支えられているというお話だった。今回の講演をきっかけに、ニュースや世界の出来事にこれまで以上に興味を持ち、自分なりに考えていきたいと思った。